情報デザイン応用演習I 10. ポートフォリオ作成 I

## 情報デザイン応用演習110.ポートフォリオ作成1

## 目次

- 初めに
- ポートフォリオサイト
- Github Pagesとは?
  - Git
  - Github
  - Github Pages
- HP制作 ワークフロー
  - 。 ワークフロー
  - 。環境
  - 。 やってみよう

# 初めに

## 前回の内容

- flexbox
- css grid

についておさらいしました。

## 今後の予定

前回決定したように

ポートフォリオ作成

を最終課題として、それに対して今回入れて6回課題に取り組んでいこうと思います。 企画から公開までを全てこなす課題となります。

## ポートフォリオサイト

### 前提条件

- Github Pagesとして公開すること
- レスポンシブ対応であること

#### Git/Github

メディア表現VIでやっている人もいますが、そうでない人もいるので、やってないてい で進めていきます。

# Github Pagesとは?

ちょっと10分ほど自分で調べてみよう

情報デザイン応用演習I 10. ポートフォリオ作成 I

## Git? Github? Github Pages?

この3つの単語がよくわからないと、全くわかりませんね。

#### Git

**バージョン管理システム**と呼ばれるものです。

開発においては、バグを修正したり、新機能を追加したり、ということをよくしま す。

これを、フォルダなどで日付管理することもできますが、システムで管理させるといいよね、というのがバージョン管理システムと呼ばれるものです。

プロジェクトを管理する場所のことを**リポジトリ**と呼んだりします。

特に、自分のコンピュータ上の管理する場所を

ローカルリポジトリ

と呼びます。

- 一人ではなく、共同で作業すると
  - 誰が
  - いつ
  - どんな修正を加えたか

について管理する必要があります。 ってことは、サーバが必要ってことですね。

有名なサービスだと

Github

というのがあります。これは、自分のコンピュータ上でないので、

リモートリポジトリ

と呼びます。

#### **Github Pages**

サーバ上にプロジェクトを管理できるGithubですが、 Webサーバを使えるようにすれば、Webページを作成できますよね。 これが、Githubの

Github Pages

という機能になります。

## Git/Github 紹介動画

- Gitとは?GitHubとは?10分で仕組み・使い方を解説! 【超入門編】
- エンジニア向けと言ってるけど、全員使えていいと思ってます。
- 主にはテキストファイルで使うべきで、動画などは容量が大きいためあまり向いて ません。

## Github Pages 紹介動画

• 【GitHubの使い方入門】GitHub Pagesを使って世界中にサイトを公開しよう!アウトプットこそ学びだ!

真似をして、最低限のHTMLでいいので、リモートリポジトリで公開してみましょう。

#### Github vscode 連携 紹介動画

Githubでプロジェクト作成して、それをVScodeで**クローン**(ローカルに引っ張ってくる)のが一番簡単だとおもうので、その方法、及び更新方法について説明します。

GIT with VSCode | Clone, Commit & Push | Git Commit & Push with VSCode | GIT Clone, Commit & Push

git configの件は、個人を特定するだけなので、ユーザ名とか適当でいいです。メアドは有効な方がエラーなど報告があるので、使えるメアドにしましょう。(設定は一回だけです)

## 仕組みの紹介動画

• 【基本知識】GitHubとは?できることや基礎用語を解説!

### Gitを使いこなしてみよう

- Githubにリポジトリ作成(まだtestとかにしておこう)
- 簡単なHTMLをアップロードする
- Github Pagesで公開
- VSCodeでローカルにクローン
- ファイルの修正・ファイルの新規追加
- コミット 同期などして、リモートリポジトリに修正を加え、最新バージョンが更 新されていることを確認しよう。

#### その他...

これ、HTMLなどのコーディングだけでなく、文書作成でも利用できると思います。

実際、自分はこのサイト・スライドを作るときに使いまくってます。 詳しくはメディア表現VIでも扱います。

Git,Github,Github pagesに関する動画はたくさん上がっているので、わからなくなったら確認してみよう。

このページもよくまとまってます。

• 【超簡単】GitHub Pagesとは?手軽にサイト公開してみよう!

# HP制作 ワークフロー

#### ワークフロー

通常以下のような流れとなります。

- 1. ヒアリング
- 2. 企画立案・サイト設計
- 3. コンテンツ制作
- 4. Webサイトデザイン
- 5. コーディング
- 6. 校正・品質チェック
- 7. 確認・チューニング
- 8. サイト公開

## 環境

#### 通常では

- 1. 開発・テスト環境
- 2. ステージング環境
- 3. プロダクション(本番)環境
- と使い分けます。
  - 1. 個人のPC
  - 2. 関係者がアクセスできるサーバ
  - 3. 不特定多数がアクセスできるサーバ

ですが、今回2番目は使いません。 2のところで、テストなどを行います。

## ヒアリング

クライアントがいる場合、要望などを聞きます。 また、この場合、現状サイトや競合サイトの分析も行います。

今回は、ポートフォリオサイトとしてどんなものがあるか、分析調査してみましょう。

## 企画立案・サイト設計

分析調査を踏まえたうえで、ユーザに効果的な

- Webサイトの企画
- サイトマップ

を制作します。

## コンテンツ制作

コンテンツに必要な

- コピー
- 文章
- 画像

などを制作します。

今回は、ポートフォリオサイトのため、これまでに制作し、掲載したいコンテンツを Webで掲載できるように準備しましょう。

例えば、psd, ai, movファイルでは掲載できません。PDF,PNG,mp4形式に変換しましょう。

#### **IFRAME**

HTMLではIFRAMEというタグがあります。

Webページ内に別のWebページや画像、動画などのコンテンツを読み込んで表示することができます。

ってことは、前半にやったJavaScriptの作品もこれで公開できるはずです。

• iframeとは?基本的な仕組みと使い方・使用例を解説

#### Webサイトデザイン

情報を整理し、ユーザビリティを考慮したWebページをデザインします。

- 一から制作するのは大変ですので、XD,Figmaのテンプレートを利用してもOKです。レスポンシブ対応なことにも留意しましょう。
  - FREE Responsive Portfolio Template -- Behance

こんなの使うと作りやすいかもです。自分でも探してみましょう。

- ・トップページ
- 各作品ページ

の二つがあれば、最低限足りると思います。(他に自己紹介ページかな...)

後述する**モバイルファースト**も意識しましょう。

### コーディング

最近では**モバイルファースト**でレスポンシブ対応することが多いようです。(Googleさんの意向も大きいようですが)

• モバイルファーストデザインとはスマホ版から作ればOK?手順やCSS解説つき

```
@media screen and (min-width:768px){
    /*タブレット用として画面幅を768pxまでに設定*/
}
@media screen and (min-width:1024px){
    /*PC用として画面幅を1024pxまでに設定*/
}
```

で追記していきましょう。最悪、モバイルとPC版でOKとします。

参考:レスポンシブ対応のレイアウトを実装する最新テクニックを解説、モバイルファーストとデスクトップファーストの現状

#### ハンバーガーメニュー

レスポンシブ対応時にほとんどは、レイアウト変更で対応できるかと思いますが、それで対応できないのがハンバーガーメニューとなります。

この辺参考にしてみましょう。

• 【コピペで簡単】ハンバーガーメニューをCSSだけで作る方法

## 校正・品質チェック

様々な環境で表示エラーや動作の不具合がないかチェックしましょう。

ResponsivelyApp

もうまく使っていきましょう。

## 確認・チューニング

クライアントにチェックをうけ、直していきます。

今回は、なくてもいいですかね。

情報デザイン応用演習I 10. ポートフォリオ作成 I

## サイト公開

Githubで公開できるようにして終了です。

## 就活で利用する場合

ソースを見れば、採用担当者はHTMLやJavaScriptの技術がどのくらいするか判断できることを意味します。

```
<!--
HTMLのコメントアウト
-->
// JavaScriptの1行のコメントアウト
/*
JavaScriptの複数行のコメントアウト
*/
```

等も気にすると、評価する人にアピールもできますね。

## ワークフロー(再掲)

- 1. ヒアリング
- 2. 企画立案・サイト設計
- 3. コンテンツ制作
- 4. Webサイトデザイン
- 5. コーディング
- 6. 校正・品質チェック
- 7. 確認・チューニング
- 8. サイト公開

#### やってみよう

それでは、まず1-3あたりをやっていきましょう。

- 掲載する作品集め
- ページ構成

とよく考えましょう。

今日を入れて、残り6回となります。

トラブったらどんどん質問してください。